

7月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	11 全校朝会 委員会 挨拶予備日	22 音楽朝会	3 漢字パーフェクト テスト 茶道(4年)	4 読書 都学力調査 (5年)	5 計算パーフェクト テスト 水道キャラバン (4年)	6 社会を明るく する運動
7	8 全校朝会	9 集会	10 漢字再テスト 研究授業(3-1)	11 計算再テスト 保護者会 夏季学園説明会 (5年) 移動教室説明会 (6年)	12 読書 避難訓練 下水道キャラバン (4年)	13
14	15 海の日	16 安全指導 中学校体験(6年)	17 クラブ	18 幼稚園との交流 プール(5年) 給食終了	19 終業式	20
21	22 個人面談	23 個人面談	24 個人面談	25 夏季水泳 サマースタディ 1日目	26 夏季水泳 サマースタディ 2日目	27
28	29 夏季水泳 サマースタディ 3日目	30 夏季水泳 サマースタディ 4日目	31 夏季水泳 サマースタディ 5日目 夏季学園事前 検診(5年)			

7月の生活目標

「せいり・せいとんをしよう」

- ・使ったものは元にもどそう
- ・身の回りをきれいにしよう



南山小学校 学校だより

7月号

令和元年 6月28日
港区立南山小学校
校長 難波 明夫

子供のさらなる成長を願って

【学習意欲の向上と学習規律の確立を目指して】

本校には「学びの姿勢」があり、全教室に掲示しています。これは、すべての子供に確実に身に付ける内容を明らかにし、全教職員と子供で、その定着と「学習意欲の向上」や「学習規律の確立」を目指して、取り組んでいるものです。

全国学力・学習状況調査の結果からも、「学校のきまりを守っている」「授業中に私語が少なく落ち着いている」「身の回りのことを自分でしようとしている」「家庭学習の習慣がある」の定着度が高い子ほど、学力も高い傾向にあると分析されています。今後、さらなる「学習意欲の向上」や「学習規律の確立」を図るべく、「学びの姿勢」に取り組む意義と学校や家庭での配慮事項について、下記のとおり考えました。

学びの姿勢の項目	取り組む意義	学校や家庭での配慮事項
○ 返事・あいさつをしよう ・相手の顔を見て話そう ・「です」「ます」までしっかりと言おう ・美しい言葉づかいをしよう	積極的に学習する姿勢が育ちます。	時と場、相手に応じたコミュニケーションの基礎として、様々な場面で指導します。
○ 話をしっかり聞こう ・話す人の顔を見て聞こう ・自分の意見をしっかりとちながら聞こう ・感想・質問が言えるように聞こう	相手を意識し、ともに学ぼうとする心が養われます。 場に応じた話し方や聞き方が身に付きます。	話す人への思いやりの心を大切にして、耳と目と心で「聴く」「話す」ようにします。
○ ていねいにしよう ・字を大きく丁寧に書こう ・下じきや定規を使おう ・道具の整理整頓をしよう	自ら学ぶ力や学び続ける習慣が身に付きます。計画的に考える態度が培われ、学習に対する意欲が高まります。	宿題や自学自習に取り組む際に、ノートの書き方や使い方の助言をするなどして、学習内容を工夫します。
○ 姿勢を正そう ・鉛筆やはしを正しく持とう ・背筋を伸ばし、足を床に着けて座ろう ・背筋を伸ばし、まっすぐ立とう	気持ちが落ち着き、集中力が高まります。	「モデルとなる絵を提示する」など、学年に応じた表現で指導します。

子供一人一人の定着度は異なります。教職員一同、できるようになったことは大いに賞賛し、苦手なことは「どうすればできるようになるか」を子供と一緒に考え、どの子も伸ばし、育てる教育をすすめてまいります。引き続き、各ご家庭での御理解と御協力をお願いします。

【特別支援教育の推進】

特別支援教育とは、児童一人一人の状況に応じた個別の支援を行うことです。特別支援教育は、特別な配慮を要する児童だけを対象とするものではなく、すべての学校に通う、すべての児童に対して行われている教育です。

今年度より、本校では「サポートシート」を取り入れています。「サポートシート」は学校で支援体制を整え、全教職員で同じ方向性をもって児童の指導と支援にあたる資料となるものです。担任と保護者だけの共通理解であった児童への指導と支援が他の教員からも受けられ、安定した環境の下で学校生活を送ることができます。

すべての教育活動を通じて、子供に思いやりの気持ちが生まれ、子供同士が安心して生活できる場として、学校が努力しなければならないことに限りはないと思っています。1学期の成果と課題を整理し、2学期に備えてまいります。夏休みは、家庭や地域の中で成長するチャンスです。有意義な夏休みを子供とお過ごしください。

セーフティ教室

生活指導主任

6月11日(火)に全校児童を対象としたセーフティ教室が行われました。

1、2年生は読売防犯協会の方が来てくださり、不審者対応について学びました。大事な合言葉である「いかのおすし」を確認しながら、自分の身は自分で守ることの大切さについて学びました。腹話術を駆使した話で、子供たちも安全について楽しく学ぶことができました。

3、4年生は麻布警察署の方が来てくださり、自転車の交通安全について学びました。友達と競争することで思わぬ事故につながることやヘルメット着用の重要性についての話を聞きました。自転車点検の合言葉「ブタハシャベル」についても知ることができ、貴重な時間になりました。

5、6年生は株式会社LINEの方が来てくださり、SNSのマナーについて学びました。「すごいね」「まじめだね」など4つの言葉の中で、どの言葉が一番嫌かについて考えました。一見いい言葉だと思っても文章にしたものを見ると印象が違ふこと、人によって感じ方が違ふことを学ぶことができました。

各学年にとって身近なテーマを学ぶことができました。児童が今後の生活に生かしてくれることを願っています。御家庭でも不審者、交通安全、SNSの利用についてなどお子さんと話し合う時間をもっていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



いかのおすし

「知らない人について

① いかない

「他人の車に② 乗らない」

「③ おごえを出す」

「④ ぐ逃げる」

「何かあったらすぐ

⑤ 知らせる」

ブタハシャベル

㊦ ブレーキ

㊧ タイヤ

㊨ ハンドル

㊩ ヤ 車体

㊪ ル ベル

心の劇場

6年1組担任

6年生は、劇団四季による「心の劇場」に招待していただき、大田区民ホールアブリコにて演劇を鑑賞してきました。この取組は、観劇を通して、作品のおもしろさはもちろんのこと、観劇のマナーを学ぶために行われています。今年度の演目は『カモメに飛ぶことを教えた猫』です。(原作は、チリの小説家、ルイス・セプルペダの児童小説。ひん死の母カモメから卵をたくされた猫のゾルバが、彼女と交わした3つの約束を果たすため、仲間と力を合わせて奮闘する姿を描いた作品です。)

子供たちは、登場するキャラクターたちがそれぞれ自分の殻をやぶって成長していく姿から、勇気をもって一歩をふみ出すことの大切さについて学びました。一人一人がこれまでの自分を振り返り、感想をもつことができました。

また、作品や登場人物の思いを、演じることで伝える表現方法を間近でみることで感動する様子が見られました。学芸会でこの表現方法を参考にして取り組みたいと意見が聞かれました。

この作品を観劇し、作品や劇団の方々の思いから学んだことを、これからの生活に生かし、行動にうつしてほしいと願っています。

投げ方教室

体育主任

体力向上のための取組の一環として、6月4日にヤクルトスワローズの2名の選手に講師としてきていただき、投げ方教室を行いました。投げ方教室では、ボールの握り方や投げる時の姿勢、腕の振り方などを学年に応じた内容で教えていただきます。

1年生は初めてなので、基本的なことから丁寧に教えていただきました。2～5年生は昨年度教わったことを確認しながら、それぞれ進級した学年に応じて、さらに一段ステップアップのためのアドバイスをいただき、練習をしました。この教室では、投げ方を学ぶことはもちろんですが、プロの野球選手にふれ合える貴重な経験にもなります。普段とは違う学習環境のため、いつも以上に意欲的に取り組む児童や、苦手でも粘り強く挑戦しようとする児童の姿が見られました。

教室の最後には、講師の選手2名の直筆サイン入りの「投げ方名人認定証」をいただき、選手と元気よくハイタッチを交わしました。後日行われた体カテストのソフトボール投げでは、投げ方教室で学んだことを生かして一人一人が力投していました。今後も体カアップタイムの充実など、体力の向上に学校全体で取り組んでまいります。

